

# 山岳遭難発生状況

～ 令和3年中 ～



三重県警察本部

## 目次

### 第一 山岳遭難の発生状況

概況 ～県内～	.....	1
発生状況詳細① ～山域別～	.....	2
発生状況詳細② ～住居地別～	.....	3
発生状況詳細③ ～態様別～	.....	3
発生状況詳細④ ～登り・下り別～	.....	4
発生状況詳細⑤ ～年齢層別～	.....	4
発生状況詳細⑥ ～単独・複数別～	.....	5
発生状況詳細⑦ ～登山届提出率～	.....	6
発生状況詳細⑧ ～発生月別～	.....	7
発生状況詳細⑨ ～発生時間帯別～	.....	7

### 第二 山岳遭難防止対策

広報啓発・安全指導活動	.....	8
救助訓練・研修	.....	8

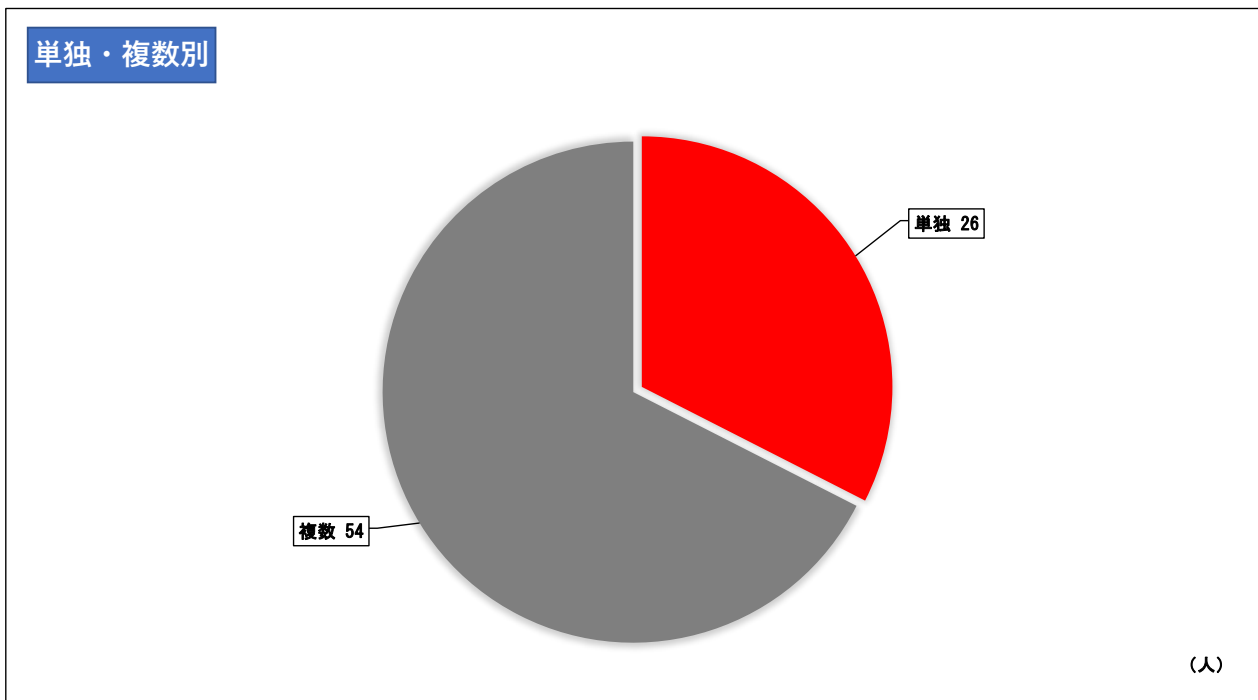




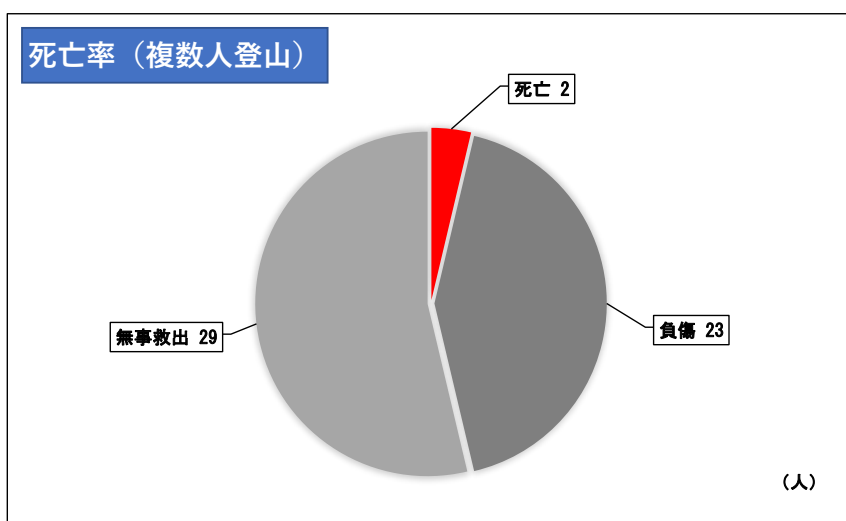




発生状況詳細⑥



・ 単独登山 ～ 26人 (32.5%)

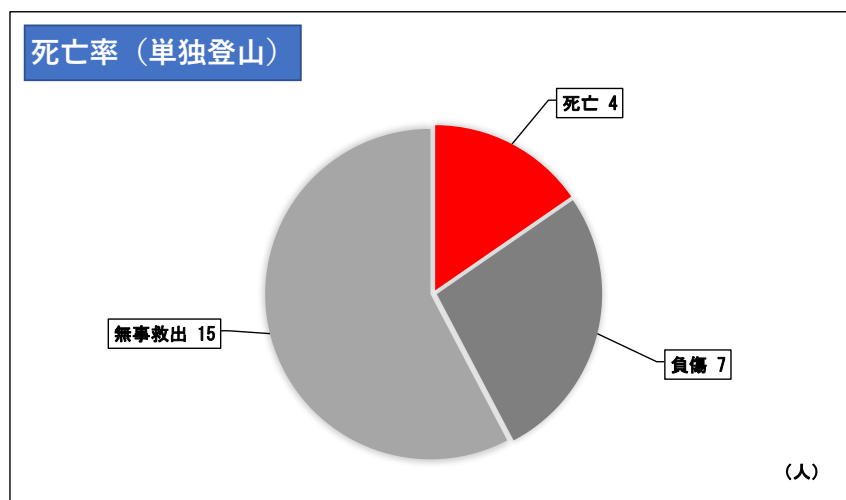


複数人登山による死亡率

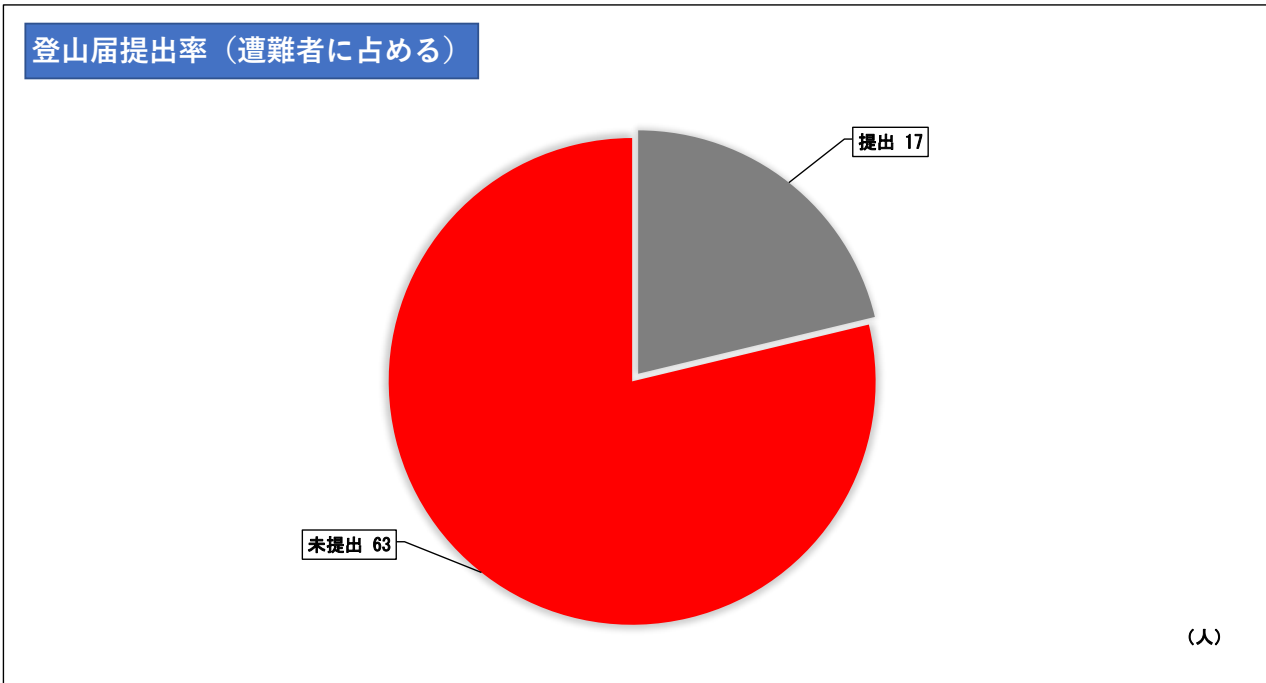
3.7%

単独登山による死亡率

15.4%



発生状況詳細⑦



- ・ 提出 ～ 17人（21.3%）
- ・ 未提出 ～ 63人（78.8%）

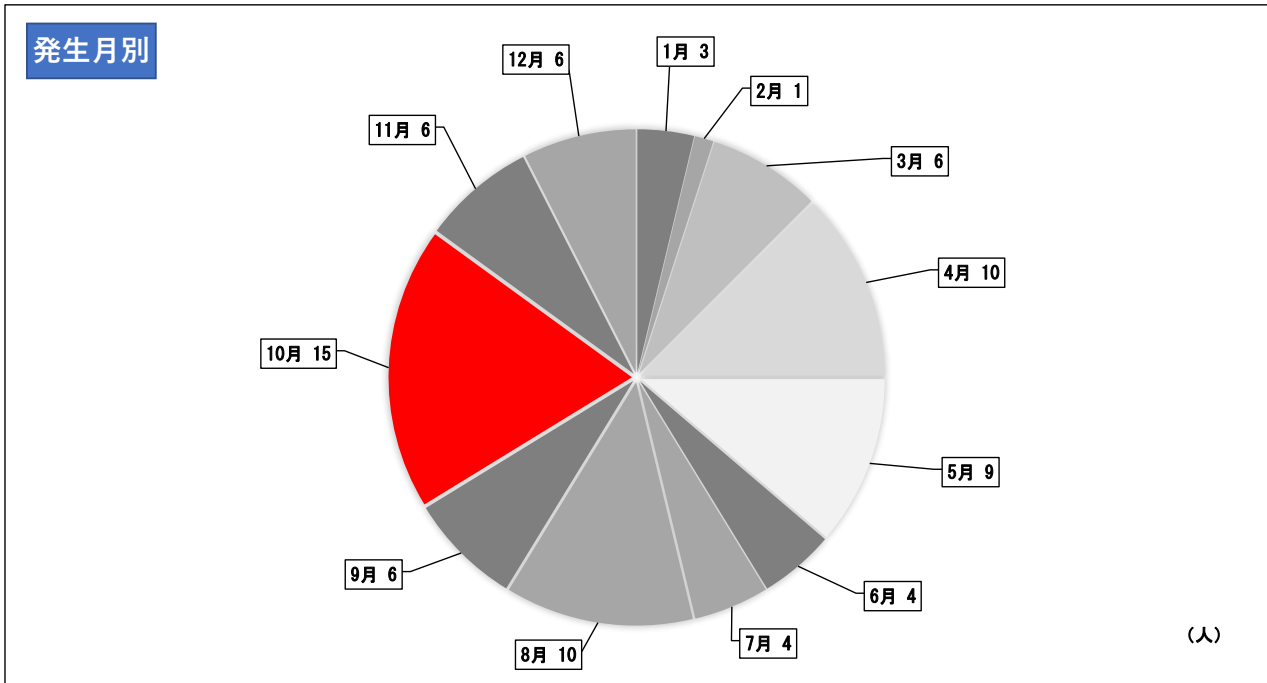
※ 登山計画書・登山届は、家族や職場の同僚等と共有しておくことにより、万一の場合の素早い捜索救助の手掛かりとなるほか、計画に不備がないか事前に確認するものです。  
 また、作成した登山計画書・登山届は、共に登山する仲間、家族や職場の同僚等と共有するほか、登山口の登山届ポスト、山を管轄する警察署等に提出してください。

三重県内で登山を楽しまれる方は、以下の方法で登山届を提出してください。



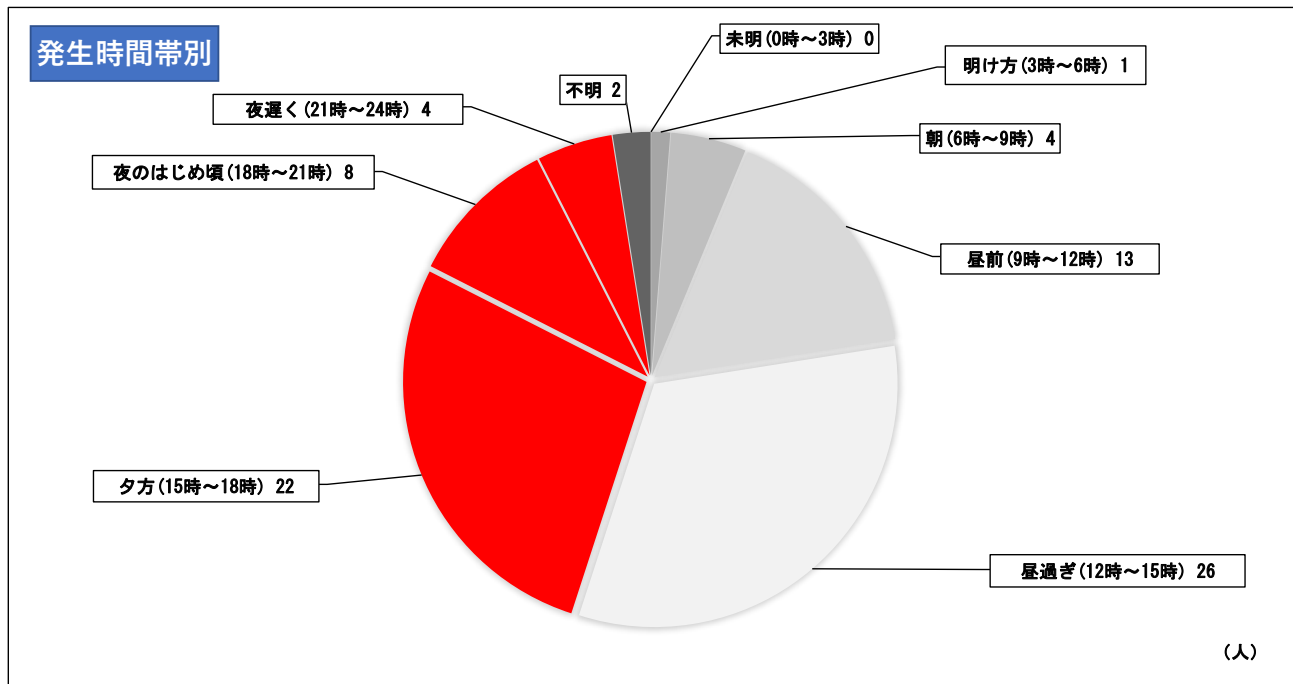


発生状況詳細⑧



- ・ 10月 ~ 15人 (18.8%)
- ・ 4月・8月 ~ 各10人 (各12.5%)
- ・ 5月 ~ 9人 (11.3%) 等

発生状況詳細⑨



- ・ 夕方以降 ~ 34人 (42.5%)

夕方以降は日没により救助活動が制限されます。時間に余裕のある登山計画を立ててください。

## 第二 山岳遭難防止対策

### 広報啓発・安全指導活動（主なもの）

項目	概要
各種媒体を活用した広報啓発	テレビ、ラジオ、新聞、ホームページ、自治体広報誌等を活用し、遭難防止を呼び掛けた。
現地等における安全指導	自治体と合同で、登山口や山岳イベント会場において遭難防止を呼び掛けた。
自治体等との情報共有	県・市町、山岳連盟等と危険箇所、登山者数等についての情報を共有した。
登山計画書の電子申請システムの運用開始(令和3年7月1日～)	県が運営する「電子申請・届出システム」を活用し、インターネット上で登山届が提出できる仕組みを構築

### 救助訓練・研修（主なもの）

実施月	参加機関（者）	内容
2月	関係警察署	積雪期における基礎訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図の判読、装備の取扱い</li> <li>・ 雪道の歩行</li> <li>・ ビバーク</li> </ul>
4月	関係警察署	新隊員訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図の判読、装備の取扱い</li> <li>・ 登山道の歩行</li> <li>・ 斜面の降下、登はん</li> </ul>
7月	大台署 山岳連盟	基礎訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図の判読、装備の取扱い</li> <li>・ 斜面の降下、登はん</li> </ul>
10月	機動隊 四日市西署 山岳連盟	関係機関との合同訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図の判読、装備の取扱い</li> <li>・ 斜面の降下、登はん</li> <li>・ 負傷者の搬送</li> </ul>
11月	四日市西署員	国立登山研修所主催「山岳遭難救助研修会」への参加
	各山岳警備隊 山岳連盟	三重県警察山岳遭難救助研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図の判読</li> <li>・ 滑落した遭難者の引き上げ</li> <li>・ 負傷者の搬送</li> </ul>

各警察署における救助訓練 : 25 回 (うち関係機関との合同訓練 : 13 回)

問い合わせ先

三重県警察本部 地域部地域課

電話番号 059-222-0110(代表)